

ルクセンブルク情勢（2012年第1四半期〈1-3月〉）

1. 主要トピック，概況

【内政】

- 社会労働党のエティエンヌ・シュナイダー氏が，ジャノ・クレツケ氏の辞任及び政界からの引退に伴い，2月1日付で経済貿易大臣に就任。
- 大臣間で足並みの乱れが見られたルクセンブルク市のトラム建設計画につき，最終的にユンカー首相が，政府としての優先事項である旨明言，2014年からの工事開始の予定に言及。

【外交】

- ベアトリックス蘭女王陛下が当国に二回目の公式訪問。欧州のビジネス環境強化をテーマとしたラウンドテーブル参加やSESの企業見学等を行う。
- アッセルボルン外相，ルクセンブルク政府高官として初めてミャンマーを公式訪問し，ア・ウン・サン・スーチー女史らと会談。二国間外交関係樹立プロセスの加速やEUによる制裁解除の可能性に言及。

【経済】

- 国民議会が，賃金物価自動スライド制を調整する法律を可決
- インフレ率：1月2.9%，2月3.0%，3月2.7%
- 失業率：1月5.9%，2月6.0%，3月6.0%
- 投資信託資産高：1月2兆1571億ユーロ，2月2兆2032億ユーロ，3月2兆2172億ユーロ

2 主な出来事

【1月】

（1）内政

- 4日 ユンカー首相，年始の記者会見で市場経済の基礎となっている基本的価値の擁護や普及の重要性を強調
- 5日 バルトロメオ保健相，25歳以下の女性を対象に経口避妊薬の代金の80%を限度に払い戻しを行うことを決定
- 18日 ベッテル・ルクセンブルク市長，トラム建設計画についての政府の統一見解を求める書簡を首相宛に発出
- 20～22日 毎年恒例の観光博（ヴァカンツ2012）が日本をゲスト国として国際見本市会場 Luxexpo にて開催

23日 ビルツェン高等教育・研究相，大学教育のための奨学金について，ヴァシリュー
ー欧州委員（教育担当）と協議

27日，ベッテル・ルクセンブルク市長，タクシー業界連合と，環境配慮型の車輛の利
用や料金引き下げによるタクシー利用者の増大に向けた対策を協議

31日 シュミット労働相，2011年の難民・移民数を公表

（2）外交

18～19日 ベルギーのディールポ首相，初の当国実務訪問。ユンカー首相及びアッ
セルボルン外相と会談した他，アンリ大公殿下に謁見

21日 シュナイダー農業相，第4回ベルリン農業大臣会合へ出席し，持続可能なグリ
ーン経済の中核としての農業の役割を強調

23日 アッセルボルン外相，EU外務理事会に出席

25～26日 アッセルボルン外相，第18回アフリカ連合サミット閣僚級会合（於ア
ジスアベバ）に出席

26～27日 ハルスドルフ内務相，ビルツェン法務相，シュミット労働相が非公式司
法・内務理事会に出席

31日 アッセルボルン外相，当地にて，インツコ・ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代
表と会談

（3）経済

6日 フリーデン財務相，リヒテンシュタインを訪問し，チュッチャー同国首相兼財務
相と会談

9日 野党緑の党及び民主党からの国民議会質問に対し，フリーデン財務相が，デクシ
アBIL買収について詳細を説明

10日 ・野党緑の党からの緊急質問を受け，ユンカー首相が客年12月の財政規律増
強の国際合意に関する当国政府の立場を説明

・教員労働組合，政府が計画中の教育改革及びすでに実施された初等教育改革
に対する抗議デモを実施

11日 フリーデン財務相，全ての金融主要国が参加しない形での金融取引税の導入は
失敗のリスクを伴うと発言

13日 格付会社S&Pが仏等9か国の国債格付けを引き下げたが当国はAAAを維持

16日 フリーデン財務相，デンマークを実務訪問

18日 ユンカー首相，ホイヤー欧州投資銀行新総裁と会談

21～25日 クレック経済貿易相，経済ミッションでイスラエルを訪問

23～24日 ユンカー首相及びフリーデン財務相，ユーログループ会合及びEU財務
相理事会に出席

24日 三者協議が不調に終わり、小売店の土曜日の営業時間を夜19時までとする法案を政府が提出することを決定

26～27日 フリーデン財務相、ダボスの世界経済フォーラムに出席

26日 ・国民議会が、賃金物価自動スライド制の調整について可決

・ユンカー首相が、財政協定条約に関する政府の立場を国民議会に対し説明

28～29日 フリーデン財務相及びヴィズラー持続的成長・インフラ相、カタール及びドバイを訪問

30日 ユンカー首相、非公式欧州理事会に出席

(4) その他（大公室など）

9日 アンリ大公同妃両殿下、仏メッスのポンビドゥセンターを見学

11日 大公宮で新年祝賀行事開催

16日 ギヨーム皇太子殿下、ブリュッセルを実務訪問。司法総局、コミュニケーション総局を訪問し意見交換

31日 アンリ大公殿下、シュナイダー新経済貿易相の宣誓式を行う

【2月】

(1) 内政

1日 ・シュナイダー新経済貿易相が就任、ルクセンブルクが現下の経済危機から立ち直るための社会的対話の重要性を強調

・新たな廃棄物処理法案が議会で採択

2日 バルトロメオ保健相、閣議決定された年金保険改革につき記者会見で説明

7日 ユンカー首相、フリーデン財務相、ルクセンブルク市のトラム建設計画は優先事項であり、2014年からの工事開始を想定している旨言及

14日 ・高等教育改革に関する第二回会合が開催され、デルボー＝ステレス国民教育・職業訓練相や各高校の代表者らが出席

・ヤコブス開発協力・人道支援相が Fondation Caritas Luxembourg を含めNGO5団体との協力関係の枠組み合意に署名

(2) 外交

1日 ・ビルツェン高等教育・研究相、コペンハーゲンで開催された、競争力に関する非公式会合に出席

・アッセルボルン外相、ASEAN諸国の大使らを招きゼニンゲン城で昼食会主催

2～3日 ハルスドルフ国防相、NATO国防相会議（於ブリュッセル）及び第48回ミュンヘン安全保障会議（於ミュンヘン）に出席

3日 アッセルボルン外相、ベネルクス新条約発効記念式典に出席

- 7～9日 ヤコブス開発協力・人道支援相，イスラエル及びパレスチナ占領区を訪問
- 8日 ユンカー首相，当地にてクランプ・カレンバウアー独ザールラント州首相と会談
- 9日 ・アッセルボルン外相，当地を訪問した張志軍中国副外相と会談
・アッセルボルン外相，当地を訪問したレンデルス白副首相兼外相と会談
- 10日 ・アッセルボルン外相，アフリカ大使を招きワーキングランチを主催
・シュミット労働相，オーストリアを訪問し，フンズトルファー喫社会・消費者保護相と会談
- 13日 国連特別報告者デシュター氏（食糧問題担当）が当国を訪問
- 13～16日 アッセルボルン外相，シンガポール及びミャンマーを訪問し，アウンサン・スーチー女史らと会談
- 14日 ・シュナイダー経済貿易相，EUエネルギー理事会に出席（於ブリュッセル）
・ビルツェン高等教育・研究相，ベルリンを訪問し，シャバーン独教育相と会談
- 17日 シュミット労働相，EU労働・社会・健康・消費者政策会合（於ブリュッセル）に出席
- 22～23日 ヤコブス開発協力・人道支援相，IFAD理事会（於ローマ）に出席
- 23日 アッセルボルン外相，ソマリアに関する首脳級会合（於ロンドン）に出席
- 24日 ・ユンカー首相，メルケル独首相と独北部のシュトラールズントで会談し，翌月初めの欧州理事会に向け金融経済状況等につき協議
・アッセルボルン外相，第一回シリア・フレンズ会合（於チュニス）に出席
- 27日 アッセルボルン外相，EU外務理事会（於ブリュッセル）に出席
- 28～29日 アッセルボルン外相，チュニジアを訪問

（3）経済

- 3日 高度な技能を有する域外国国民に「ブルーカード」を付与することでEU内の労働市場へのアクセスを容易にする欧州指令を国内法化する法律が公布
- 9日 ユンカー首相及びフリーデン財務相，ユーログループ会合に出席
- 11日 ルクセンブルク市中心部で，偽造品の取引の防止に関する協定（ACTA）に対する反対デモ行動が発生
- 13～15日 フリーデン財務相，ワシントンDCを訪問し，米国外国口座税務コンプライアンス法（FATCA）やボルカー・ルール等につき関係者と協議
- 14日 経済貿易省，偽造品の取引の防止に関する協定（ACTA）に関するプレスリリースを発売し，同協定に関する政府の立場を表明
- 15日 当国所在衛星通信会社SES，50基目となる衛星SES-4の打ち上げに成功
- 16日 ビンスフェルドの風力発電所開所式にシュナイダー経済貿易相が出席
- 20日 野党年金党による当国公的債務の推移に関する質問に対し，ユンカー首相及び

フリーデン財務相が、書簡による回答で公的債務残高及び貸付・保証について説明
20～21日 ユンカー首相及びフリーデン財務相、ユーログループ会合に出席
23日 デクシアグループが2011年度収支を発表
27日 欧州委員会が、当国に対し、大学教育のための奨学金の受給資格に関する差別を廃止するよう要請。越境労働者の子女が奨学金を受けられないことを問題視

(4) その他(大公室など)

16日 シュタイシェン・ヴィアンデン城友の会会長がジャン前大公殿下(ヴィアンデン城管理幹事会会長)を往訪、ヴィアンデン城の世界遺産リスト登録に関する書類を手交
25日 アンリ大公同妃両殿下、ヴァイルブルク城でのギヨーム4世大公殿下没後100周年行事に参加
27日 マリア・テレザ大公妃殿下、ルクセンブルク赤十字のボランティア従事者70名を招いてレセプションを開催

【3月】

(1) 内政

1日 シュナイダー経済貿易相とシャンク持続的成長・インフラ副相が、環境と交通インフラに関する政府の新施策を発表
5日 バルトロメオ保健相、仏カテノム原発ストレステスト最終報告を発表
20日 デルボー＝ステレス国民教育・職業訓練相、高校教員団体との間で実施していた教育改革に関する会合の打ち切りに対する批判を受け、意見交換を2013年春まで継続することを決定
21日 シュミット労働相、リブゴット仏議員と、鉄鋼業の今後とアルセロールミタル工場について協議
23日 ユンカー首相及びビルツェン高等教育・研究相、2011年ノーベル医学賞受賞者ジュル・ホフマン教授(当国出身の生物学者)と会談
29日 開発協力及び人道活動に係る法律(開発援助に関する1996年の基本法を補完するもの)が採択
30日 2011年のフィンデル空港利用者数1,794,255人(前年比9.9%増)が発表される

(2) 外交

1日 アッセルボルン外相、モロッコを訪問
5日 アッセルボルン外相、チベット関連のNGO代表者と会談
7日 ユンカー首相、当国を訪問したファン＝ロンパイ欧州理事会議長と会談

8日 ・シュミット労働相，EU司法・内務理事会（於ブリュッセル）に出席
・アッセルボルン外相及びビルツェン法務相，クラーク英国法務相と会談

9日 アッセルボルン外相，EU外務理事会非公式会合（於コペンハーゲン）に出席

12～13日 モデルト文化相，モスクワを訪問し，アヴデーエフ露文化相と会談

13日 ・アッセルボルン外相，リベリアを訪問
・ハルスドルフ内務・グランドレジョン相，第6回世界水フォーラム（於マルセイユ）に出席

14日 アッセルボルン外相，ギニアを訪問

16日 シュナイダー農業相，当国を訪問中のコヴェニー・アイルランド農業・食糧・海洋相と会談

19～20日 シュナイダー農業相，EU農業・漁業理事会（於ブリュッセル）に出席

19日 アッセルボルン外相，ローマを訪問し，テルツィ外相，リッカルディ国際協力担当相，フィーニ下院議長と会談

19～22日 ヤコブス開発協力・人道支援相，ニカラグアを訪問

20日 日・ルクセンブルク政務協議実施。主に，日EU・EPA，租税条約，社会保障協定，国際機関選挙等の課題につき議論。

22日 ポルトガルのモエダス首相補佐副大臣及びレイタオン欧州担当副大臣が当国を訪問し，ユンカー首相及びアッセルボルン外相と会談

22日 ヤコブス開発協力・人道支援相，エルサルバドルを訪問

27日 ウクライナのクリチコ・ウダール党党首が当国を訪問，ユンカー首相及びシュナイダー・スポーツ相と会談

28日 ・ソウザ・カーボヴェルデ文化相が当国を訪問，モデルト文科相，ヤコブス開発協力・人道支援相と会談
・ヤコブス開発協力・人道支援相，ボスニア・ヘルツェゴビナ，クロアチア，モンテネグロ各大使と会合

（3）経済

1日 ・欧州理事会に先立ち，ユンカー首相がユーログループ会合を招集し，ギリシャ問題について協議

12日 政府が，総額10億ユーロ規模の10年物国債を発行

12～13日 ユンカー首相及びフリーデン財務相，ユーログループ会合及びEU財務相理事会に出席

21日 ・フリーデン財務相らが，2011～2015年度の経済予測を発表
・フリーデン財務相，フランクフルトで開催された金融セミナーにてスピーチ

22日 当地大手銀行デクシアBILで株主総会が開催され，「Banque Internationale à Luxembourg」への商号変更を決定

27日 ・ヤコブス家族・統合相とシュミット労働相が、若者の雇用のためのアクションプランについて記者会見で説明

・シュナイダー経済貿易相及びヴィズラー持続的成長・インフラ相、労働組合側との緊急対談を開き、カーゴルクス社のカタール側持分が35%を超えるような増資は実施しないことを言明

28日 鉄鋼業三者会議開催。当国鉄鋼産業のてこ入れ戦略「LUX 2016」を公表

29日 フリーデン財務相、国民議会で財政政策についての討議にて答弁

30～31日 ユンカー首相及びフリーデン財務相、非公式ユーログループ会合及びEU財務相理事会に出席

(4) その他（大公室など）

20～22日 大公殿下の招待を受け、ベアトリックス蘭女王陛下が当国を国賓訪問

24日 マリア・テレザ大公妃殿下、第7回リレーフォーライフ開会式に参加

29日 当地で開催された外交・開発・防衛セミナーに参加した国連常駐代表がアンリ大公殿下に謁見